

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成26年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さま方におかれましては、御家族お揃いで、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町議会においては、昨年4月任期満了に伴う町議会選挙が執行され、新体制となりました。その後の初議会におきまして、再び議長の大役をお引き受けすることになりましたが、皆さま方のご理解、ご指導のおかげで大過なく新年を迎えることが出来ました事、心から感謝申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国政では自民・公明両党による連立政権が発足し、安倍内閣が誕生して一年が経過しました。国民の高い支持率のもと冷え込んでいる経済を再建するため、アベノミクスを推進されています。しかし、その効果は地方まで及んでいない感じがいたします。そのような情勢の中、本町財政においても極めて厳しい環境にあります。この為、より一層の経費節減、効率化など行財政改革が求められている中で、医療、福祉の充実・少子高齢化・若者定住・産業振興・防災対策など多くの課題が山積しております。

このような状況を打開するためには、自治能力を高め、都市と農山村が「共生」しうる社会を強みに進めていくことが重要であります。

さらには、国において、地域再生のために、全国市町村の声に十分耳を傾け、真の分権型社会が実現される施策を展開されることを強く要望しているところです。

高速道路が宇和島延伸されました。本町として、この延伸による経済効果を最大限に生かしていく施策を引き続き展開し、人的交流、地域経済活性化を図っていくことが大切だと考えています。

町民の代表である議会といたしましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は町民の皆さまであることとを第一に、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいりたいと考えております。

結びに本年が町民の皆さまにとりまして、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、益々のご発展を心から祈念申し上げますとともに、今年も議会に対しまして一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

鬼北町議会議長 松浦 司

年頭のあ
新年に向けて「今、鬼北